まさのレポート
Masano Report
11
2014年 春号

埼玉県議会 民主党・
無所属の会 越谷支部
〒343-0042
埼玉県越谷市千間台東2-7-11-102
Tel:048-973-3800
Fax:048-973-3801
e-mail:masano.yamamoto@sea.plala.or.jp
http://www.y-masano.jp/

料金別納
郵便
郵便区内特別

埼玉県議会議員 山本まさの

これまでご縁のあった方々にお送りしています。ご不用の方はお手数ですがその旨ご連絡ください。

中核市指定の申し出について知事に同意を申し入れ

4月15日、越谷市が総務大臣に中核市指定の申し出を行うことに対し埼玉県の同意を求めるため、高橋市長が県庁を訪問。私も越谷選出県議として同席しました。

申し入れ当日、私は越谷市選出の県議を代表して、ご挨拶させていただきました。

中核市は人口30万人以上を要件とする都市制度で、指定されると高度救急隊の設置、保健所の設置・運営、民生行政の事務などの権限が県から移譲されます。

全国で4月1日現在、43市が指定されており、越谷市が中核市になると、県内では川越市に次いで2番目になります。

越谷市議会では、3月定例会で中核市指定の申し出に係る議案が議決され、今後の手続きとしては、6月県議会の議決を経て県の同意を受けた後、越谷市が総務大臣に中核市の指定を求める申し出を行う予定です。

地方分権を推進し、個性豊かで活力あふれる地域社会を実現するためには、もっとも市民に身近な行政機関である越谷市が市民ニーズを速やかに把握し、的確に施策に反映させる事が大切です。

今後も高橋市長と連携し、越谷市発展のために頑張ります。

「医療勤務環境改善支援センター（仮称）」設置を申し入れ

看護職員などの離職防止や医療現場の改善を目的とする「医療勤務環境改善支援センター（仮称）」を県が設置するよう求めて、自治労埼玉県本部と埼玉県職労と共に、4月15日、埼玉県保健医療部に申し入れを行いました。

この「センター」は、地域医療を支える民間も含めた全ての医療従事者に対して、相談支援を行うものです。国（厚生労働省）は「医療勤務環境改善に関する法律」の改正準備を今年度に進め、今秋10月の「センター」事業の開始を予定しています。都道府県の800万円以上の予算化に対して、国は600万円を都道府県に予算措置する計画です。「センター」の設置には、県から国への申請が必要なため、今回の申し入れを行いました。

当日、上田知事宛の要望書を受け取った県保健医療部の石川稔部長から、「センター設置を前向きに検討したい」との回答を頂きました。

県保健医療部長（右端）に要望書を手渡す自治労県職労の榎本委員長。その左隣が県本部の持田委員長。

予算特別委員会の委員として初めて質問に立ちました。

3月6日の県議会予算特別委員会において、4つのテーマで質問に立ちました。健康長寿プロジェクトの質問に対する知事の答弁が埼玉新聞で記事になるなど、有益な回答を引き出すことができました。

健康長寿埼玉プロジェクト 朝霞市における「団地まるごとタニタ生活」事業について

山本まさの

朝霞市のモデル事業はNHKの番組で紹介され、県民の関心も高まっている。5月に成果発表するとのことだが、これまでの経過と成果は？

上田知事

昨年9月から12月までの3か月間、団地住民全員が参加する「団地まるごとタニタ生活事業」を実施した。

参加者は、20代から80代の80名。男性肥満者9人の最高血圧の平均は、138.8と基準値を上回っていたが、3か月後に121.8と基準値内に低下、体脂肪率やMBIの改善も若干認められたので、効果が見込めると考えている。

医療費抑制効果、データの詳細分析など検証のうえ、近々発表したい。

山本まさの

高齢化に伴う福祉関連費用の増加対策には、元気で長生きが大切である。朝霞市の団地以外の市町村にも拡大する考えはあるか？

上田知事

朝霞市の事業は、民間事業者タニタとの連携事業であり、5月までに成果分析を行い11月の日本公衆衛生学会で発表予定である。

簡単に広げることは難しいが、学会で一定程度の評価を受け、正当と認められたら、受け入れに手を挙げていただいたところを重点的に広げていく可能性がある。

現在行っている他の9つのプロジェクトも含めて、団地以外の市民へも実現したいと思っている。

山本まさの

県職員にも自ら率先して「タニタ生活」に取り組んでもらい、成果を大きくPRしてもらえると県内の企業にも拡がると思うが、知事の所見は？

上田知事

職員が加入している共済組合の都道府県別データでは、本県職員はメタボの割合も一人当たりの医療費も、少ない方から4位となっている。

この状況を良いことだと認識しているが、さらにこれを1位にするために、始業前にラジオ体操を放送したり、職員食堂で野菜が豊富なコバトン健康メニューを提供するなど対策を進めてきた。

ただ、職員の健康づくりは、号令を掛けるのではなく、職員の自発性を優先したい。

健康長寿埼玉プロジェクト　健康長寿サポーター事業について

山本まさの

健康長寿埼玉を実現するためには、健康長寿サポーター養成のような草の根運動が一番であると思うが、知事が率先して取り組んではどうか？

上田知事

健康長寿の実現のためには、モデル市での活動もさることながら町内会単位で複数のリーダーがいれば普及率が高いと判断している。まず、2か年で3万人のサポーターを目標に、今年度は1万5千人を達成、2年間で3万人を養成する。次の3年で3万人、その次の3年で1万5千人、合計7万5千人程度のサポーターが養成できれば、町内会で複数のリーダーが養成されるので、普及の実現に協力いただきたい。私もサポーターになって県民に拡げていきたい。

2月に私も受講して、健康長寿サポーターとなりました。基本的で実践しやすい講習内容です。ご自身の健康維持のためにも、ぜひ受講してみてはいかがでしょうか？　受講者には、この応援ブック（認定証付き）が進呈されます。

健康長寿　隗より始めよ

知事もサポーターに

埼玉新聞　2014.3.7

上田知事から、率先したサポーター受講の意向を引き出しました。

ネット問題対策について

山本まさの

越谷市教育委員会が作成した情報モラル教育啓発資料マンガ『ネット警備隊 ねっぱとくん』を、埼玉県教育局として広く県内に告知しては？

教育長

早速拝見したが、ネットの正しい利用について、児童生徒にとって親しみやすいマンガという表現でまとめた、分かりやすくよいものであると考える。県教育局として、私自身としても、研修会など様々な場で広く周知していきたい。

埼玉版ウーマノミクスプロジェクトについて

山本まさの

男女共同参画センターや経済団体と共催事業を行う、ウーマノミクスサイトのリンクを貼ってもらう、女性の起業に関する講師を紹介するなど、今後、市町村や地域の経済団体などとの連携を、さらに進めるべきと考えるがいかがか？

上田知事

たくさんご提案いただいたことを、まるごと受け取って実施したいと思う。

山本まさの

女性起業支援ルームである「COCO オフィス」の設置は高く評価しているが、商談スペースがなく不十分な面がある。今後の対応は？

上田知事

創業・ベンチャー支援センター埼玉の相談コーナーなど、他の施設も借りることが出来るが、うまく伝わっていなかった。先程ご指摘のあった市町村など関係機関との連携に、改善すべき点も多いので速やかに問題解決していきたい。

COCOオフィス利用者の発表会に伺い、利用者の皆さんと直接意見交換を行いました▶

※他に、「臨時・非常勤職員の賃金の改善について」も、質問しました。

県立小児医療センターの工事が再開

臨時議会でようやく、工事費増額分を盛り込んだ修正予算が可決に!

2月定例会で病院建設の補正予算が否決され、工事がストップ

先の2月定例会の福祉保健医療委員会において、移設予定の県立小児医療センターの工事費増額分55億円が盛り込まれた修正予算案が自民会派により否決され、本会議では増額分を削除した修正案が自民党議員団等の賛成多数で可決されました。

修正予算(増額)否決の理由は、新病院建設費について、「手続きが不適切」「説明が足りない」等、大きな問題とは思えない内容でした。

我が会派は新病院の一日も早い完成を望んでいましたが、これにより、2月から始まっている建設工事は実質的にストップしていました。

工事再開に向け、臨時議会で再度の検討

この状況を危惧する、県医師会をはじめ県内の16の団体からは予算成立を求める要望書が議会に提出されています。

今回の臨時議会で上程された議案は、先の議会で上程された議案とほぼ同じ内容でしたが、前回否決した自民党が行った質疑は、新たに分かった建設予定地内における自然由来のヒ素の影響についての質疑だけで、自民党があれ程問題視していた本議案の手続き上の欠点について、自民党議員から委員会や本会議で何ら問題点を指摘する議論は行われませんでした。

それでは、今回、何のために臨時議会まで開かなければならなかったのか?　理解に苦しみますし、このために3週間という時間と経費を割く必要があったのか、疑問です。

安全・安心な病院の開業を一日も早くと望む

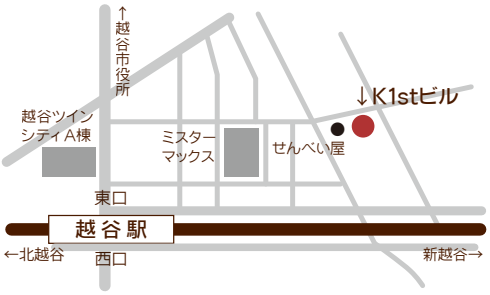
いずれにせよ、ようやく工事が再開されることになりますが、病院の稼働を心待ちにしている県民の皆様や患者の皆様のためにも一日も早く開業することを期待しています。

ちなみに、当該建設地に土壌溶出量調査結果から局所的に基準値を若干上回るヒ素が検出された問題は、調査の結果、自然由来のものと思われ、工事に大きな影響が出る状況にはない模様です。

しかしながら病院の建設予定地であることから、しっかりと無害化を行い、安全を確保して工事に取り掛かっていただきたいと思います。

山本まさの事務所を、下記に移転します!

5月23日より、
事務所を瓦曽根に移します。

最寄駅は「越谷駅」、徒歩6分の所です。

〒343-0821 越谷市瓦曽根1-20-6 K1stビル3F
Tel:048-961-8841　Fax:962-8121